

Flucher, G. (2010). *Practical Language Testing*. London: Hodder Education.

## Chapter 4 Activity

### 4.6 Reverse engineering I

■ 逆行分析とは、テスト項目やタスクが何の構成概念を測ろうとしているのかを解明することで、特定の学習者群用のテストを選ぶときや、テストの目的や項目がその層のニーズを満たしているかどうかを調べる場合に便利である。

■ 下記のライティングプロンプトをみて、以下の質問に答えよ。

- (1) これらの項目は何を目的として書かれたものか
- (2) これらは何をテストしているか。
- (3) このスコアからどのようなことを決めることができるか (What kinds of decisions might you take on the basis of scores derived from items of this kind?)。

#### Writing

以下の情報とダイアグラム (省略, p.124 参照) を使って、交通を整理するための方法を評価する 300 語程度のレポートを書きなさい。また、学校の周囲の道路を整理するために 2つの方法を選択し、示しなさい。

#### Some traffic problems

- Traffic speed
- Overtaking
- Volume of traffic
- Lorries in residential streets
- Parking near junctions
- Pedestrians cross the road

#### Some possible disadvantages

- Awkward for buses
- Dangerous for cyclists
- Poor access for emergency vehicles
- increased noise
- Loss of parking places

- (1) 道路設計技術者、もしくは道路整備に携わる公務員を選定するためのテストだと考えられる。
- (2) 道路交通に関する一般知識、交通静穏化の手法に関する専門知識、歩行者や自転車が遭遇する危険についての知識、また、学校への言及があることから、児童生徒の生活や行動への理解も考慮していると考えられる。さらに、レポートを書く指示があることから、これらの知識を活用して、具体的な交通環境や学校環境を考察する能力をみている。
- (3) 受験者が、(a) 道路交通に関する知識を有しているか、(b) それを応用して自分の意見を述べることができるか、(c) 児童生徒の行動への理解があるか、(d) 状況に応じて適切な手法を選択できるか。

### 4.7 Reverse engineering II

■ ここでは以下の McEldowney (1982) のテストを用いる。グループで活動できるなら、2人がこのテストを行い、

考えていることを口頭で説明せよ。他の人は2人の発言をメモせよ。2人の行動と、あなた自身のこのテストに対する分析に基づいて次の質問に答えよ。

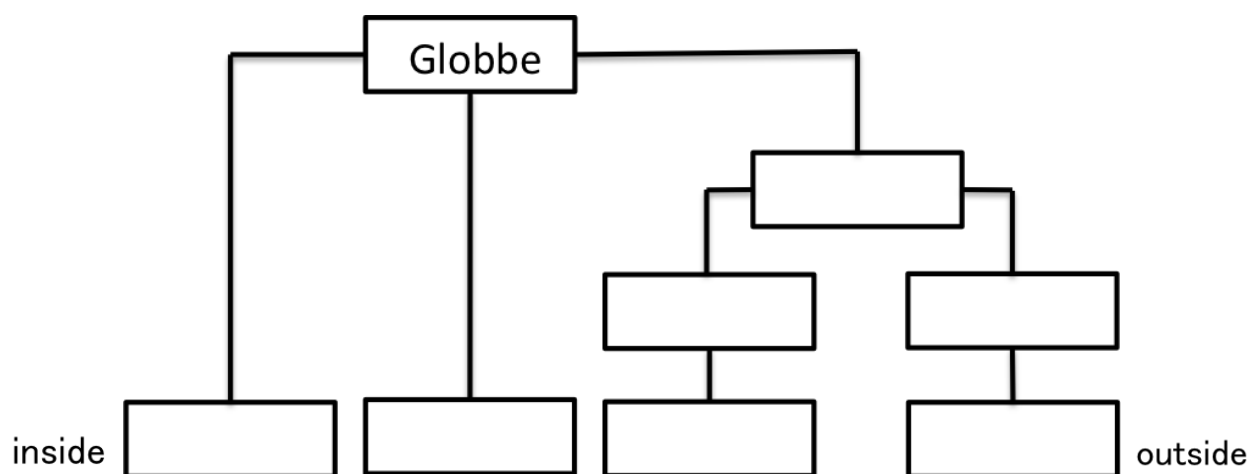
- (1) これがテストしている構成概念は何か。
- (2) その構成概念を効率的に測定できているか。

次の英文を読んで、リストにある語を使ってダイアグラムを完成させなさい。

### Globbs

*The four trug jigs of the globe are the colls, the solls, the pals and the tals. They are in wongs, one inside the other. First, there are the colls in the centre with the solls around them. Outside the solls is the polnth. Where the polnth has two wings, the jigs of the outer wong are the pals, which tote the calyth. The jigs inside this are the tals toting the colnth.*

List: calyth, colls, colnth, pals, ponlth, solls, tals



- (1) 読解力 (正確さに重きを置く)、推論能力 (wongs, tote などの語の意味を文意に合わせて推論する)、情報処理能力 (テキスト情報から空白に入る適切な語を選ぶ)
- (2) EFL 学習者の場合、ここまで未知語が多いとテキストを読むこと自体に支障が生じる可能性があるように感じる。仮に上記の構成概念をみるとすると、それぞれ別々のテストや項目を作成すべきだと思った。

### 4.8 Project work

■ 特定の言語の必要性をもったグループをあげよ。あなたの馴染みのある分野で結構です。

・彼らは特定の理由のために言語を学習するあなたの生徒であり、仕事でその言語を使ってコミュニケーションをとる必要がある学習者である。

- (1) 彼らが目標言語を使う際の、ターゲットとなる層と状況を説明しなさい。
- (2) コミュニケーションの目的、手段、参加者を描写し、彼らが理解しなければならないテキストの例をあげなさい。
- (3) 彼らが習得すべき構成概念を述べなさい。
- (4) 彼らのテストの枠組みを簡単に述べなさい。

(1)

グループ: 塾講師

ターゲット層: 生徒である小学生や中学生、またその保護者、同僚の講師

状況:

- ・授業で生徒に学習項目を解説する。
- ・授業内・外で生徒とコミュニケーションをとる。
- ・保護者に電話で連絡、報告を行う。
- ・同僚の講師に業務連絡、報告、相談をする・

(2) 目的:

- ・生徒に学習内容をわかりやすく伝える。
- ・生徒、保護者、同僚と信頼関係を構築する。
- ・保護者、同僚に連絡事項を正確に伝達する。

(3) 構成概念:

- ・指導する教科の知識
- ・一般的な知識・蘊蓄
- ・プレゼンテーション能力 (授業)
- ・相手に応じて適切な言葉遣いを使い分ける語用論的能力
- ・他者と良好な関係 (i.e., ラポート) を築く社会言語的能力

(4) テスト

- ・筆記試験: 教科知識
- ・面接: 人柄、一般的な知識
- ・模擬授業: 授業力
- ・ロールプレイ: 保護者や問題への対応力

☆ディスカッションした内容

■ 4.7 のダイアグラムのテストについて、想像力も構成概念に入るのではないか。テキストに含まれる語は擬似語ばかりだが、それに囚われずに全体の意味に焦点を当てると、宇宙 (太陽系のように恒星の周りを星が回っている) のように読み取ることができる。

■ しかし、2人でこのテストをやってみたが殆ど満足には出来なかった。ゆえに、ここにあげた構成概念 (i.e., 読解力、推論能力、情報処理能力、想像力) をみたいのならば、それぞれに個別の項目を作成して分析的に測定する方が良いように思われる。

■ 4.8 のプロジェクトワークについて、塾講師の構成概念には他に、

- (1) 様々なレベルの生徒を同時に相手にする能力
- (2) 学習に効果的、かつ生徒の興味関心に合った教材を作成する能力
- (3) ICTなどを活用するための教育工学に関する知識
- (4) いかに生徒をのせるか、生徒が知らない間にやっていた、というような状況をつくる能力
- (5) 目標を明確にする能力

などがあげられる。

■ また家庭教師の場合は、より一対一のやりとりに主眼を置いた対応能力が求められると考えられる。ゆえに、家庭教師の選定試験では、個々の生徒の特徴を的確に把握する能力や、それぞれの興味関心に柔軟に対応できる能力をみる必要がある。

